

保存期間：10年
(平成36年度末)
平成26年12月17日
国税不服審判所

国税審判官（特定任期付職員）の書類選考等について

1 概要

- (1) 全国で事件担当審判官99名のうち、50名が特定任期付職員。
- (2) 平成27年度は15名程度の国税審判官（特定任期付職員）を採用する予定。
- (3) 上記採用の公募に対し、応募は95名（前年74名）で過去2番目に多い。

※1 弁護士、税理士の応募者が急増。

（日弁連での説明会、日税連会報誌での所長対談、特定任期付職員OBへの募集PR等の成果と考えられる。）

※2 東京、大阪の都市圏での応募者が増えている。

※3 50代の応募者が増え、また実務経験年数が長い者の応募者が増えている。

- (4) 書類選考の結果、前年同様25名を面接対象者と決定。

弁護士■名（前年■名）、税理士■名（前年■名）、公認会計士■名（前年■名）

- (5) (4)の25名につき、1月中旬に面接試験を実施予定。

- (6) 最終合格者は、選考委員会（7名）で決定。

選考委員	職名	氏名
	国税不服審判所長	畠山 稔
	国税不服審判所次長	中山 厚
	東京国税不服審判所長	畠野 隆二
	大阪国税不服審判所長	瀧華 聰之
	国税不服審判所部長審判官	岡根 秀規
	国税不服審判所管理室長	江崎 純子
	国税庁長官官房人事課長	柴崎 澄哉

2 書類選考方法

応募書面で、■

から選考した。

3 書類選考結果

(単位:左上段及び中段・人、下段・%)

職種	合計	年齢				実務経験(登録後)				性別	
		30代	40代	50代	60代以上	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	男	女
弁護士											
税理士											
会計士											
合計	25 (100)	25 (48.0)	12 (32.0)	12 (20.0)	8 (0.0)	1 (0.0)	5 (16.0)	0 (36.0)	8 (32.0)	4 (16.0)	7 (80.0)

※1 各欄の左上段は、昨年の人数を示す。

※2 各欄の下段括弧書きは、合計25名に対する本年の書類選考の割合を示す。

4 面接及び採用の方針

採用内定者を決定することとしたい。

5 今後のスケジュール

(1) 面接試験

平成27年1月15日(木)及び16日(金)(国税不服審判所大会議室)

(2) 採用内々定通知

平成27年2月上旬(序幹部説明後)

(3) 採用

平成27年7月10日(金)

1 国税審判官（特定任期付職員）の書類選考審査一覧【得点順】

順位 受付順	氏名	年齢	性別	現住所	職種	民間実務経験		役所勤務		過去の 応募状況	勤務地	面接 対象 (案)	備考(公務員経験・資格・個別事情等)
						登録前	登録後	役所名	年数				

1 国税審判官（特定任期付職員）の書類選考審査一覧【得点順】

順位	受付順	氏名	年齢	性別	現住所	職種	民間実務経験		役所勤務		過去の応募状況	勤務地	面接対象（案）	備考（公務員経験・資格・個別事情等）
							登録前	登録後	役所名	年数				